

2023年度（令和5年度） 総合計画の進捗状況レポート

資料 1-1

本町では、南小国町共有ビジョン（以下「ビジョン」）の実現に向けて、まちづくりの計画（総合計画）を策定し、この計画に沿って様々な取組みを進めています。

このレポートは、計画の進捗状況（主な動きや成果等）を町民の皆様にお知らせするために作成しています。

町民の皆様には、お手数をおかけしますが、ご覧いただき、別添アンケートにより評価や意見をいただきますようお願い申し上げます。

〈2023年度（令和5年度）の主な動き〉

基本目標1に関するトピック

野焼き
(ドローン撮影)



しごととコンビニの稼働

基本目標2に関するトピック



企業版ふるさと納税制度の積極的な推進

県外での
イベント出展



基本目標3に関するトピック



ぬくもりの活動

老人宿泊研修



着工前 基本目標4に関するトピック しゅん工



瓜上矢田原線
改良工事の実施



バイオマス産業
都市認定書



〈基本目標に関する成果指標の推移〉

基本目標	指標の推移（総合計画上期(2020~2024年度)）						
	開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
1. 雇用を守り、増やし、創り出すとともに、次世代を担う人材を育て活かす	指標(単位)		町内事業所数(社)				
関連ビジョン 【き】【の】 関連戦略 1, 2	530	397	326	330	458		550 (2024年度末)
2. 新しい人・資金の流れと連携・協働の一層の促進により地域の活力を高める	指標(単位)		町民税課税額(百万円)				
関連ビジョン 【と】 関連戦略 3	136	146	142	145	152		142 (2024年度末)
3. 一人一人の個性・人生に応じた希望を叶えやすい環境を創り、皆が誇りを持って活躍できる地域社会を実現する	指標(単位)		ビジョン【よ】に関する将来像到達度(点)				
関連ビジョン 【よ】 関連戦略 4	-	2.79	3.09	3.23	3.25		4 (2024年度末)
4. 誰一人取り残されず、安心して暮らし続けられる町をつくる	指標(単位)		ビジョン【ら】【さ】に関する将来像到達度(点)				
関連ビジョン 【ら】【さ】 関連戦略 5, 6	-	2.84	3.12	3.20	3.18		4 (2024年度末)

※別途実施させていただく町民アンケートの集計結果により測定することとなります。

2023年度(令和5年度) 総合計画進捗状況レポート(項目別)

要点だけ確認されたい場合、白字の部分(特に大事な点)を中心にご覧ください。

2050年共有ビジョン	き	築いてきた美しい里山の景観、伝統文化、生業を次世代に引き継いでいく
2030年の目指す姿	<input type="checkbox"/> 乱開発を防ぎ、自然豊かな姿を保っている <input type="checkbox"/> 若い世代に伝統文化や本町らしさの伝承が進んでいる <input type="checkbox"/> 農業や林業に関わる人が増えている	これらのアンケート項目に対応する取組実績について以下に記載しています。
取組方針	〈戦略1〉 築いてきた美しい里山の自然・景観・文化を守りつつ、現在地域にある「しごと」の稼ぐ力を高めていく	

施策(1) 里山の自然・景観・文化の保全		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標(達成時期)
指標(単位)	啓発活動実施件数(件)	15	12	15	13	15		20(毎年度)
	野焼き実施面積(ha)	2,355	2,353	2,433	2,465	2,447		2,355(2024年度末)
	日本で最も美しい村づくり活動件数(件)	3	0	4	4	3		5(毎年度)
関連予算額(単位:千円)			119,656	122,357	121,879	117,631		
進捗状況自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ◆阿蘇の世界文化遺産登録に向けた活動の一環として、中原地区での現地調査と、その成果発表会の実施、関係機関と連携しパンフレット等を活用した周知活動に取り組んだ。 ◆「日本で最も美しい村」づくり事業補助金を実施し、自然環境保全活動3件に補助を行い、美しい村づくりにつながる活動を支援した。 ◆「日本で最も美しい村」活動支援補助金を新たに創設し、町内団体等が自主的に取組む清掃活動に係る経費に対する支援(1件)を行った。 ◆野焼きボランティアなどの協力を得て、前年度と同規模の野焼きを実施することができた。 ◆町内の小学4年生を対象に、南小国町のゴミの処理に関して、滝美園クリーンセンターにて出前授業を実施した。 							

施策(2) 農林業の課題克服と競争力強化		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標(達成時期)
指標(単位)	荒廃農地解消面積(ha)	0.8	0.6	0.3	0.2	0.3		2.1(期間累計)
	森林伐採面積(ha)	97	132	138	133	103		100(2024年度末)
関連予算額(単位:千円)			37,591	37,888	39,497	48,088		
進捗状況自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ◆農業委員会活動による担い手のマッチング活動などを行った。営農再開により、0.3haの荒廃農地を解消することができた。 ◆令和5年度については阿蘇森林組合の森林経営計画に基づく主伐間伐による伐採、及びその他事業者による伐採についても一時期のウッドショックによる価格高等時期に比べ伐採面積が減少傾向となった。伐採後の植林については阿蘇森林組合の施策分については100%、その他伐採届出分については75%程度となっている。 							

施策(3) 観光・サービス業の持続的成長		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標(達成時期)
指標(単位)	本町の観光入込客数(千人)	1,087	876	786	942	1,382		1,450(2024年度末)
関連予算額(単位:千円)			158,299	179,017	168,498	132,028		
進捗状況自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ◆県民割や全国旅行支援などの需要喚起策や本町における観光商品券の発行などの観光振興施策を実施し、多くの観光施設、宿泊施設において前年の観光入込客数を上回った。前年から観光入込客数は大幅に増加し、観光客の総数ではコロナ前の令和元年には及ばないものの、同程度の数値へと回復した。 ◆県内外で開催されているイベントにおいて広く南小国町の周知を行い、観光入込客数の回復及び地域経済の活性化につなげた。 							

2050年 共有ビジョン	よ	寄り添い支え合い、人と人のつながりを大切にし、一人一人が誇りを持ち、多様な生き方を尊重しあえる里
2030年 の目指す姿	<input type="checkbox"/> 人々が交流する機会や場所が増えている <input type="checkbox"/> 思いやりと福祉の充実により町民生活の負担が軽減されている	
取組方針	〈戦略4〉若者、女性、高齢者、障がい者、ひきこもり、外国人等町内で暮らす誰もが充実した人生を過ごしていけるよう、人生の一層の充実に向けた希望をかなえるチャンスを創出するとともに、実現を阻むハードルを最小化していく。	

施策(10) 結婚・妊娠・出産・子育ての希望を叶える		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	出生数(人)	27	21	21	19	21		30 (2024年度末)
	関連予算額(単位:千円)		578	827	1,176	1,611		
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	◆児童の放課後の居場所を確保する施策として、教育委員会所管事業の放課後子ども教室を令和4年度より週3日から週4日に拡充して実施を継続している。 ◆要保護児童等の支援にあたる「子ども家庭センター」については、設置に必要な専門職員(保健師1名、社会福祉士1名)を確保し、令和6年4月からの運営に向けて支援体制が整った。							

施策(11) 自立支援、健康づくりの推進と生涯現役社会の実現		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	要介護認定者数(人)	336	351	334	325	331		323 (2024年度末)
	要介護認定率(%)	21.6	22.4	21.3	20.8	21.2		20.0 (2024年度末)
	関連予算額(単位:千円)		215	120	40	300		
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	◆介護予防事業等の効果により、要介護認定者数及び認定率は2年連続で減少していたが、令和5年度は微増となった。一方で、介護予防のためそれぞれの地域で活動を続ける通いの場では、体力の維持改善を図ることができた。 ◆65歳以上の高齢者の就労率は県内上位ではあるが、その一方で老人クラブ加入者数は年々減少しており、閉じこもり防止や高齢者の生きがい支援の観点から、町として地域の活動場所を提案・支援していく必要がある。							

2050年 共有ビジョン	ら ライフラインを充実させ、地域全体で協力し、だれもが笑顔で安心して過ごせる里
2030年 の目指す姿	<input type="checkbox"/> 便利で強靱なインフラや生活環境の整備が進んでいる <input type="checkbox"/> 災害から生命・生活を守る体制が築かれている
取組方針	〈戦略5〉 交通・買物・医療・福祉等の生活のあらゆる場面で、誰もができる限り不安や不便を感じることなく暮らしていくために、ハード・ソフト両面で必要な対策を講じていく

施策(12) 交通弱者対策の推進	年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
	開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	町内の65歳以上の運転免許返納者数(人)	27	18	26	18	24	75 (期間累計)
	関連予算額(単位:千円)		26,500	20,000	19,670	20,000	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない						
上記評価 の理由	<p>◆2023年度の65歳以上の免許返納者数は24名と前年を上回る数値となっており、その受け皿となっているタクシー利用助成事業は、毎年延べ1万人程度利用いただいております。2023年度も延べ約1万人近い方が助成事業を利用いただくなど、高齢化が進むなか、一定の役割を果たしているものと考えています。タクシー利用助成事業の内容についても多くの利用者の方から満足をいただいております。</p> <p>◆2023年度1月から3月に南小国町と小国町の中心市街地を巡るコミュニティバス「にじバス」の無料運行を実施しました。運行は平日のみですが、実施した3ヶ月間の利用者数が851人と、2022年度の同期間の利用者数の倍以上の利用となりました。今後も利用促進の取組を進めつつ、運行内容の見直しをする。</p>						
うまくいった点、 いていない点等							

施策(13) 医療・介護・福祉の連携による包括的なケアの推進	年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
進捗状況 自己評価	開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない						
上記評価 の理由	<p>◆小国郷医療福祉あんしんネットワークの活動を通じ、小国公立病院を中心に在宅医療の支援体制の構築を図った。今年度は医療MaaS(移動診察車両)を導入し、町内2ヶ所での巡回診療が始まった。</p> <p>◆令和5年7月に、小国郷の町民を対象としたフォーラムを開催し、全世代型地域包括ケアシステムに関する理解を深めた。また、小国郷医療・福祉ネットワークハンドブックを5年ぶりに更新し、各事業所の役割や特性について周知を行った。</p>						
うまくいった点、 いていない点等							

施策(14) 地域住民の生活を支えるインフラの整備及び管理	年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
進捗状況 自己評価	開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	道路改良計画のある7路線の整備進捗率(%)	41	48	52	63	70	80 (2024年度末)
	関連予算額(単位:千円)		84,181	70,819	90,245	57,347	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない						
上記評価 の理由	<p>◆7路線のうち、重点事業である町道中湯田赤迫線(瓜上矢田原線)の繰越工事(令和4年度)の完了に伴い、整備進捗率が向上した。他の6路線については、町道樋ノ口吉ノ本線の整備を実施し同路線の計画区間の整備が完了した。</p>						
うまくいった点、 いていない点等							

施策(15) ICT・IoT技術の導入による新たなまちづくり	年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
進捗状況 自己評価	開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	ICT・IoT導入件数(件)	1	1	2	4	0	5 (期間累計)
	関連予算額(単位:千円)		6,057	4,773	26,102	5,301	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない						
上記評価 の理由	<p>◆令和5年度における新規のICT・IoT導入件数は上がっていないが、令和5年度にスタートしたコンビニ収納や、コンビニ交付サービスの利用が浸透し、利便性が向上した。</p> <p>◆デジタル田園都市国家構想交付金について、国の計画策定支援事業の採択を受けて計画策定を行った。コンサルと共に地域住民へのヒアリング等を実施しつつサービス選定し、令和6年度に向けたいくつかのサービス実装計画を策定し、採択された。</p>						
うまくいった点、 いていない点等							

施策(16) 防災・減災体制の強化	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	<p>◆令和5年6月に南小国町地域防災計画を見直し、適切な避難行動の発令判断に関する事、非常時の電源確保に関する事、浸水想定区域の範囲に関する事などについて修正した。</p> <p>また、南小国町国土強靱化地域計画の点検を行い、災害による被害を最小限に抑え、迅速な復旧復興へとつながる災害に強く安心安全な地域づくりを推進するため、各課局が推進すべき取組みの方向性を確認した。</p>

施策(17) 情報発信・相談支援体制の充実	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	<p>◆町民が相談しやすい役場を作ることを目的に、接客技術の向上のためにサービス向上研修、クレーム対応研修を行った。</p> <p>◆町内の消費者被害、多重債務問題を解決するために、消費生活相談窓口に専門相談員を配置した。</p> <p>◆地域包括支援センターの専門職員の確保については、社会福祉協議会からの出向職員と町会計年度任用職員にて確保してきたが、令和5年度において保健師を1名採用し、さらなる相談支援体制の充実を図ることができた。</p> <p>◆2022年7月より、南小国町役場公式LINEアカウントによる情報発信を開始した。広報誌やケーブルテレビ番組、文字放送、ホームページ等で登録の周知を行い、2024年3月時点で登録件数は1,400件を超えている。</p> <p>職員の防災連絡や消防の連絡網としても活用され、町民の情報源として急速に認知が広がっている。ホームページと連携したアンケート等も行った。今後も他市町村のLINE活用事例等を参考に、さらに利活用の幅を広げられるよう取り組んでいく。</p>

センコ氏(うじ)

おしとい氏

詳しくは絵本サイト「もぐのこ」をご覧ください！
https://www.pu-kumamoto.ac.jp/users_site/iimulab/mognoko/ehon.html

2050年 共有ビジョン	の のびのびと学べる環境の中ですべての人が夢に向かって挑戦できる里
2030年 の目指す姿	<input type="checkbox"/> 子供達が地域ならではの体験等を通してのびのびと学んでいる <input type="checkbox"/> みんなが夢を持ち、語りあい、互いに挑戦を応援しあっている
取組方針	〈戦略2〉 地域内における人材育成と新たな「しごと」づくりを促進していく

施策(4) のびのびと学べる環境の整備		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	小中学校の学習環境に対する満足度(点/4点満点)	-	3.40	3.45	3.51	3.48		3 (毎年度)
関連予算額(単位:千円)			17,140	877	715	950		
進捗状況 自己評価	<input checked="" type="radio"/> A 良好 <input type="radio"/> B 概ね良好 <input type="radio"/> C やや良好でない <input type="radio"/> D 良好でない							
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	<p>◆GIGAスクール関係補助事業を活用することで、児童生徒のための学習用コンピュータの整備は目標以上の1人1台の整備済み。</p> <p>◆故郷を愛する心を育成するための教育プログラムでは、小学4年生の「里山自然体験活動」や中学1年生の「農業民泊体験活動」、中学2年生の職場体験活動を発展させた「まちインターン」を実施し、児童生徒の満足度は目標指数を超え、「南小国町の良さ(郷土のすばらしさ)」を知ることにつなげることができた。今後は、将来、「ふるさと南小国町で生活をしたい」と思えるよう、更なる活動内容の充実を図る必要がある。</p> <p>◆学校給食センターについては、建設用地が確定しておらず、農協跡地の活用の状況も踏まえて考える必要があり、予定通りに進捗できていない。</p>							

施策(5) 新たな挑戦を育てる		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	起業及び新規事業による売上総額(千円)	-	8,723	6,855	43,023	63,113		50,000 (2024年度末)
関連予算額(単位:千円)			56,862	27,527	62,057	75,294		
進捗状況 自己評価	<input checked="" type="radio"/> A 良好 <input type="radio"/> B 概ね良好 <input type="radio"/> C やや良好でない <input type="radio"/> D 良好でない							
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	<p>◆起業塾などの開催を通じて、令和6年度から新たに2名の起業型地域おこし協力隊が活動することになるなど、本町での新たな挑戦を育てる活動が継続して行われている。</p> <p>◆2021年度から取組を行っている「まちの人事部機能の創出による人材還流促進及びデータバンク構築・利活用事業」で南小国町版しごとコンビニを本格稼働を始めた。登録者も100名を超え、稼働回数も600回を超え少しずつ地域に浸透している。</p> <p>◆町外からの移住者や関係人口を創出するための「ワーキングパッケージ事業」、「ローカルトリップ」や未来づくり拠点MOGの利用促進や情報発信を行い、若者世代の獲得、企業との連携、町内事業者との連携などに取り組んだ。</p> <p>◆南小国夢チャレンジ事業により、起業や新規事業による地域活性化に取り組んだ。</p>							

2050年 共有ビジョン	さ	再生可能エネルギーを地域資源から生み出し、有効活用し、未来につながる豊かな暮らしを実現できる里
2030年 の目指す姿		<input type="checkbox"/> 再生可能エネルギーの産出・活用が進んでいる <input type="checkbox"/> 木材がより有効に活用されている
取組方針		〈戦略6〉 木質バイオマスの活用や小水力発電等の再生可能エネルギーの導入、省エネ及びCO2削減につながる動きを促進していく

施策(18) 木質バイオマスの活用推進		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	町内における木質バイオマス燃料使用量(t)	-	183	199	221	161		930 (期間累計)
関連予算額(単位:千円)			658	300	750	1,500		
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	<p>◆木質バイオマスボイラの使用比率は昨年に引き続き100%を達成しており、経費削減にも繋がっているが、バイオマス材料の木材単価の値上がり傾向が進んでおり、注視する必要がある。</p> <p>◆2023年度には木質ペレットストーブ等の申請が4件あり、設置が進んでおり、南小国町がバイオマス産業都市の認定を受けたことで、今後のさらなるバイオマス活用が期待される。また2022年度まで木質ペレット燃料を生産量で集計を行っていたが、実態に近い使用量として計算を行った結果、昨年よりも減となっている。</p>							

施策(19) 新たな再生可能エネルギーの導入推進		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	役場関与により導入された再生可能エネルギー施設等による年間発電量(kWh)	0	0	5,833	7,774	7,802		400,000 (2024年度末)
関連予算額(単位:千円)			2,250	2,390	9,168	4,716		
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	<p>◆マイクロ小水力発電実証事業については、令和4年度に(株)SMO南小国の農園内に発電設備を設置しており、マイクロ小水力の発電の可能性について引き続き検証を行っている。</p> <p>◆太陽光発電設備等の導入は1件の補助金の交付を行った。</p> <p>◆太陽熱利用システム導入費用補助を交付し、2件の補助金の交付を行った。</p>							

施策(20) 省エネルギーに関する活動の推進・促進		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	町民の省エネ活動促進のための普及啓発事業(回)	2	13	4	9	9		12 (毎年度)
関連予算額(単位:千円)			0	5	5	5		
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	<p>・令和6年3月に子供デイサービス利用者を対象として、環境問題に関するアニメーションを利用した学習を実施した。また、広報誌には省エネルギーに関する記事を3回掲載し、省エネルギーに貢献するためのハードルを 低くするため、家庭で実施可能な行動の周知を行った。その他、ゴミカレンダーの配布やホームページを使ってゴミの分別やりサイクルの周知、二酸化炭素排出量調査結果の更新等を行った。</p>							

2050年 共有ビジョン	と 共に連携し、世界とつながり、世界に誇れる幸福な暮らしができる里
2030年 の目指す姿	<input type="checkbox"/> 町外・国外から本町及びその地域資源等への注目度が高まっている <input type="checkbox"/> 本町への移住者や移住希望者が増えている <input type="checkbox"/> 町外で本町のために活動する人や企業が増えている
取組方針	〈戦略3〉 地域内外の人同士、団体同士のつながりが生まれ、育つ環境を整備し、新たな人やお金の流れを地域の維持・発展の原動力にしていく。また、つながりをうまく活かし、戦略的な外商を推進しながら、地域経済の中でできる限りお金が循環するようにし、地域の経済的な豊かさを高めていく

施策(6) 「ウィン・ウィン」な関係でつながる連携や協働の推進	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	<p>◆SMO南小国を中心として、若者世代の獲得、企業との連携、町内事業者との連携などに取組み、移住を含めた外部人材を獲得できた。</p> <p>◆町民の安全確保体制の強化と、大規模災害時の食料確保手段の複数可を図るため、「生活協同組合くまもと」と、食品配達時において町民の安否確認などの見守り活動を行っていただくこと、大規模災害発生時において応急生活物資を積極的に供給していただくことについての協定を締結した。</p>

施策(7) 新しい人の流れをつくる		年度毎の推移(総合計画上期(2020~2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	移住定住施策による移住者数(人)	6	3	3	11	12		40 (期間累計)
	関連予算額(単位:千円)		8,311	19,385	6,340	20,680		
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	<p>◆東京・大阪・福岡で実施された対面での移住関連イベント等へ出展し、移住相談や本町のPR活動を展開した。</p> <p>◆SMO南小国と連携して企画した、都市部在住の方や民間企業等を対象とした移住定住体験プログラムを実施し、移住体験として町内に実際に来てもらうことができた。将来的な移住等を検討される方の発掘に繋がった。</p> <p>◆町内に移住等を検討されている方に対して、相談対応を22件、「空き家バンク」登録物件の内覧対応を18件行った。</p> <p>◆移住定住コーディネーターによる相談体制の拡充は図れたが、「空き家バンク」の登録物件数を増やせなかったため、マッチングが上手くいかないケースもあった。一方で、移住希望者向けの住宅の整備を進めることができたため、今後の運用で移住者の更なる確保に取り組みたい。</p>							

施策(8) 戦略的な外商の推進	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	<p>◆長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい経営環境におかれている地域の飲食業や観光関係の活性化を促すとともに、県内外で開催されているイベントにおいて広く南小国町の周知を行い、観光入込客数の回復及び地域経済の活性化につなげた。</p> <p>◆町外在住者向けに「観光商品券」を3回発行し、町外からの誘客を図った。</p>

施策(9) 地域経済におけるお金の循環を高める	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない
上記評価 の理由 うまくいった点、 いっていない点等	<p>◆町内在住者向けに「商工会プレミアム商品券」を発行したほか、2022年度に引き続き、2023年度は全町民に対し2万円分の「くらし応援券」、町内のガス契約者に対し6千円分の「くらし応援券」を配布するなど、新型コロナウイルス感染症拡大及び物価高騰等の影響で打撃を受けている地域経済と町民の生活を支援した。</p>